

★利用開始日
9月1日(金)、午前0時

★駐車可能台数
普通自動車36台

★場所
石鳥谷駅前駐輪場付近(好地?、12・41ほか)

東北本線石鳥谷駅の利便性向上を図るため「石鳥谷駅前駐車場」を整備しました。
同駐車場は、商店街の一角に位置し周辺地域への来訪者も利用できることから、市街地活性化への役割も期待されています。

石鳥谷駅前の有料駐車場
9月1日から利用できます

区分	駐車場料金
使用時間1時間まで	無料
3時間まで	100円
8時間まで	300円
12時間まで	500円
24時間まで	600円
24時間を超え、以後12時間ごとに	300円加算

※駐車場は出入りを含めて終日使用可能

【問い合わせ】
石鳥谷総合支所建設係(☎45・2111内244)

新花巻駅第1無料駐車場の利用を休止します

新花巻駅前西側にある第1無料駐車場の舗装工事を行うため、下記の期間、利用できなくなります。

工事期間中は、第2・第3無料駐車場、有料の西駐車場(第1・2)のほか、臨時の無料駐車場を2カ所設置いたしますので、ご利用ください。

なお、第1無料駐車場は、舗装工事後に西駐車場(第1)の一部(右図、点線のとおり)となり、有料でご利用いただくこととなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【利用休止期間】

8月30日(水)～12月中旬

※利用休止期間は、工事の進捗状況により、変更となる場合があります

❖西駐車場(第1)料金

▶24時間まで…無料

▶24時間を超え、以後12時間ごと…200円加算

【問い合わせ】

本庁都市政策課(☎24-2111内線566)



宿場町おおはさま400年記念事業 大迫あんどんまつりと弘前ねぶたまつりと共演

大迫の街並みが形成されてから400年の節目となることし。大迫地域では記念イベントが開催されています。

記念イベント第3弾は「大迫あんどんまつりと弘前ねぶたまつりと共演」。大迫あんどん山車と弘前ねぶた(青森県)が大迫町内を練り歩きます。



●弘前ねぶた

ねぶたの由来はさまざまな説があります。

江戸時代の農民行事だった「眠り流し」と、七夕祭りの「松明流し」や「精霊流し」「盆灯籠」などが融合。ねぶたに発展したという説が有力です。

弘前ねぶたは昭和55年、国の重要無形民俗文化財に指定されました。

※写真は扇型の「扇ねぶた」

開催日時 8月14日(月)
16:00～22:00

※「大迫あんどんまつり」は16日(水)にも開催します

会場 大迫町中心商店街

■タイムスケジュール

行事名	時間	内容
あんどん山車・弘前ねぶたの運行	16:00～22:00	あんどん山車4台と弘前ねぶた(弘前ねぶた氏會)の運行
郷土芸能上演	①19:10～19:30 ②19:50～20:10	豊沢大念仏剣舞の上演
あんどん御輿運行	19:30	奥州早池峰會によるあんどん御輿の運行
山車集合イベント	20:20～20:50	あんどん山車4台と弘前ねぶたの音頭上げや祭りばやしなどの共演

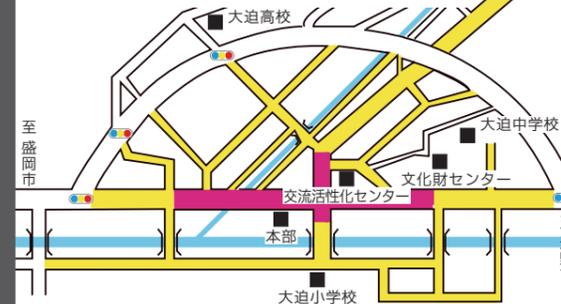
■交通規制を行います

交通規制時間中は通行禁止区域に車の乗り入れができません。交通規制時間前に通行禁止区域に乗り入れた場合も規制解除まで出ることができませんのでご注意ください。

■車両通行禁止

■駐車・大型車進入禁止

【日時】8月14日・16日、午後7時～10時



【問い合わせ】

大迫あんどん山車保存会(大迫総合支所地域振興課内☎48-2111内線165)



●大迫あんどんまつり

およそ200年の歴史を持つ大迫のお盆の伝統行事「あんどんまつり」。江戸時代の天明(1781～88年)、天保(1830～43年)と打ち続いた大飢饉で餓死した人々を供養するために始まったと伝えられています。

出し物には、武者絵や歌舞伎の題材のほか、先祖供養の仏画などが描かれます。